

新型コロナウイルス感染症に 関する高齢者施設等への支援

愛知県看護協会

高齢者福祉施設等への支援

高齢者福祉施設等を対象とした
新型コロナウイルス感染症相談窓口

クラスター発生時の看護師等派遣事業

感染対策動画配信：基礎編・PPE着脱法 他

名古屋市委託事業

高齢者福祉施設等を対象とした
新型コロナウイルス感染症相談窓口

趣旨

高齢者施設・居宅事業所における新型コロナウイルス感染症の施設内療養者について、救急搬送が必要と思われる場合でも搬送先が見つからず、施設内療養を継続せざるを得ない状況が発生するなど、事業所の対応が困難を極めるとともに、職員に非常に重い負担がかかる状況となっている。



事業所のコロナ対応を支援するとともに、事業所職員の負担軽減を図るため、相談窓口を設置する。

相談体制

1. 場 所 愛知県看護協会
2. 開始日 令和4年9月13日(火)～
3. 時 間 平日・午前9時～午後5時(土日祝日・年末を除く)
4. 対応方法
 - ①電話対応:3回線、常時3人体制
 - ②実地での助言

相談対象施設

種 別	事業所数
介護老人福祉施設（地域密着型含む）	121
介護老人保健施設	74
介護医療院・介護療養型医療施設	7
特定施設入居者生活介護（地域密着型含む）	112
住宅型有料老人ホーム	353
サービス付き高齢者向け住宅	107
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	204
養護老人ホーム・軽費老人ホーム	27
短期入所生活（療養）介護（ショートステイ）	215
合 計	1,220

相談対応内容

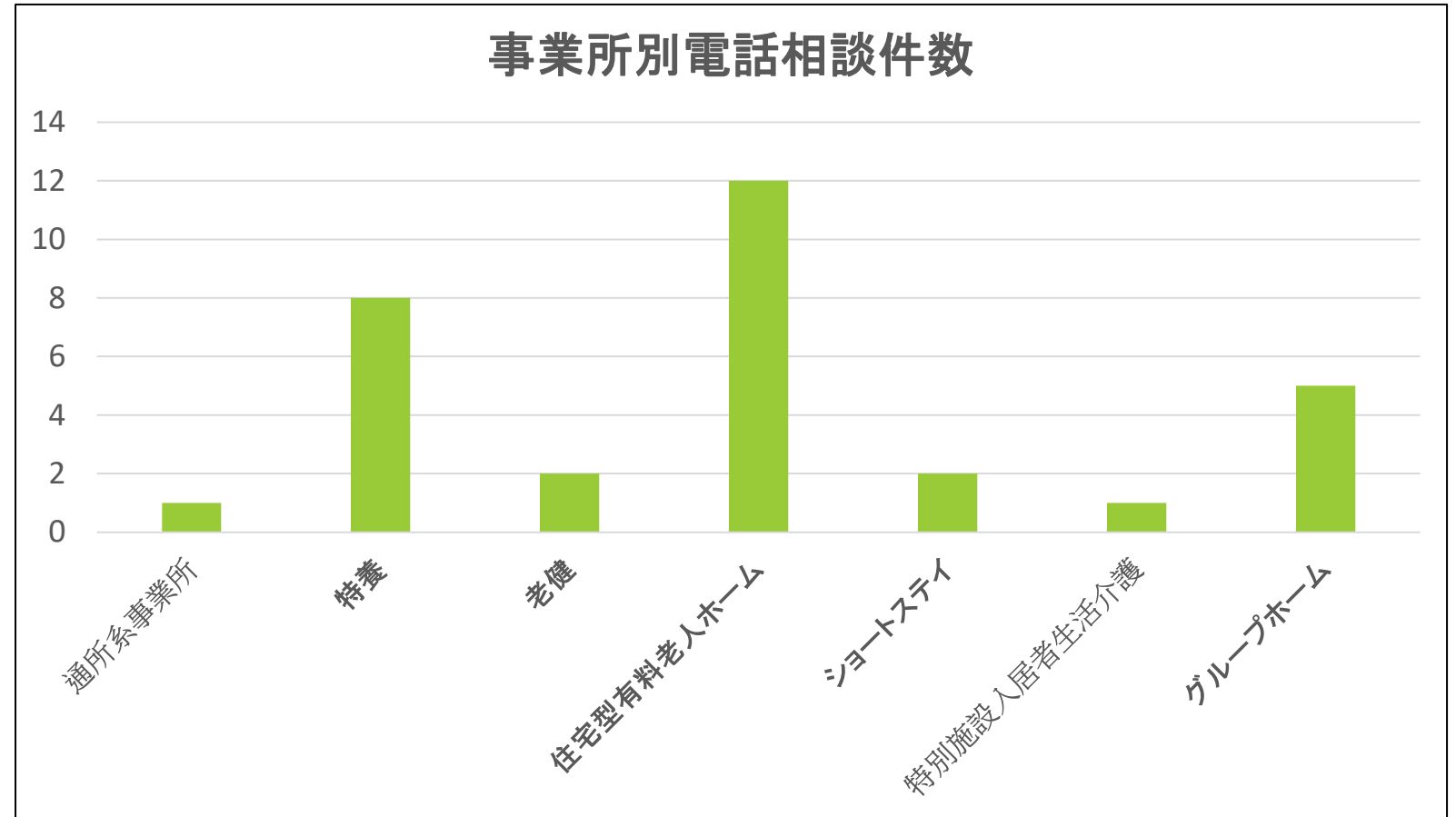
項目	業務内容	備考
各事業所における感染防止対策に関する相談	感染発生前及び感染発生初期における助言並びにDMA T等介入後の継続的な助言 ・ゾーニング、個人防護具の使用方法 ・食事・排泄・洗濯・ごみ処理方法等における感染防止対策 ・環境整備（換気・清掃・消毒等） 等	厚労省作成の介護事業所向けマニュアル等を活用
その他上記相談に付随する業務	業務対応FAQの作成・更新 相談対応の記録作成 等	FAQの作成・更新について市の承認を得る

実績(9月13日～9月30日)

	件数	内容
電話対応	31件	<ul style="list-style-type: none">・ゾーニング・利用者から陽性者が出た時の対応・陽性者が出た報告(保健所へ誘導)・衛生物品の不足・PCR検査をどこまでどのように行うか・濃厚接触者の定義・介護職員の危険手当について・介護士の応援要請について
実地指導	2件	<ul style="list-style-type: none">・施設での具体的な感染対策方法の確認・ゾーニング方法・PPE着脱方法の実演・施設内の見学・アドバイス・質疑応答・資料提供

電話相談実績(9月13日～9月30日)

事業所	電話件数
通所系事業所	1
特養	8
老健	2
住宅型有料老人ホーム	12
ショートステイ	2
特別施設入居者生活介護	1
グループホーム	5
合計	31



実地指導実績(9月13日～9月30日)

事業所	訪問件数
通所系事業所	0
特養	1
老健	0
住宅型有料老人ホーム	1
ショートステイ	0
特別施設入居者生活介護	0
グループホーム	0
合計	2

訪問実地内容

- ・施設での具体的な感染対策方法の確認
- ・ゾーニング方法
- ・PPE着脱方法の実演
- ・施設内の見学・アドバイス
- ・質疑応答
- ・資料提供

電話相談受付中 : 080-2144-6253

愛知県委託事業

クラスター発生時の 看護師等派遣事業

目的・対象

【目的】

県内の医療機関や**福祉施設**において新型コロナウイルス感染症の患者クラスターが発生し、通常の運営体制の維持が困難になった場合に本看護協会から看護師を派遣、または本協会の派遣調整の下、県内の医療機関から看護師を派遣する。

【対象】 看護職

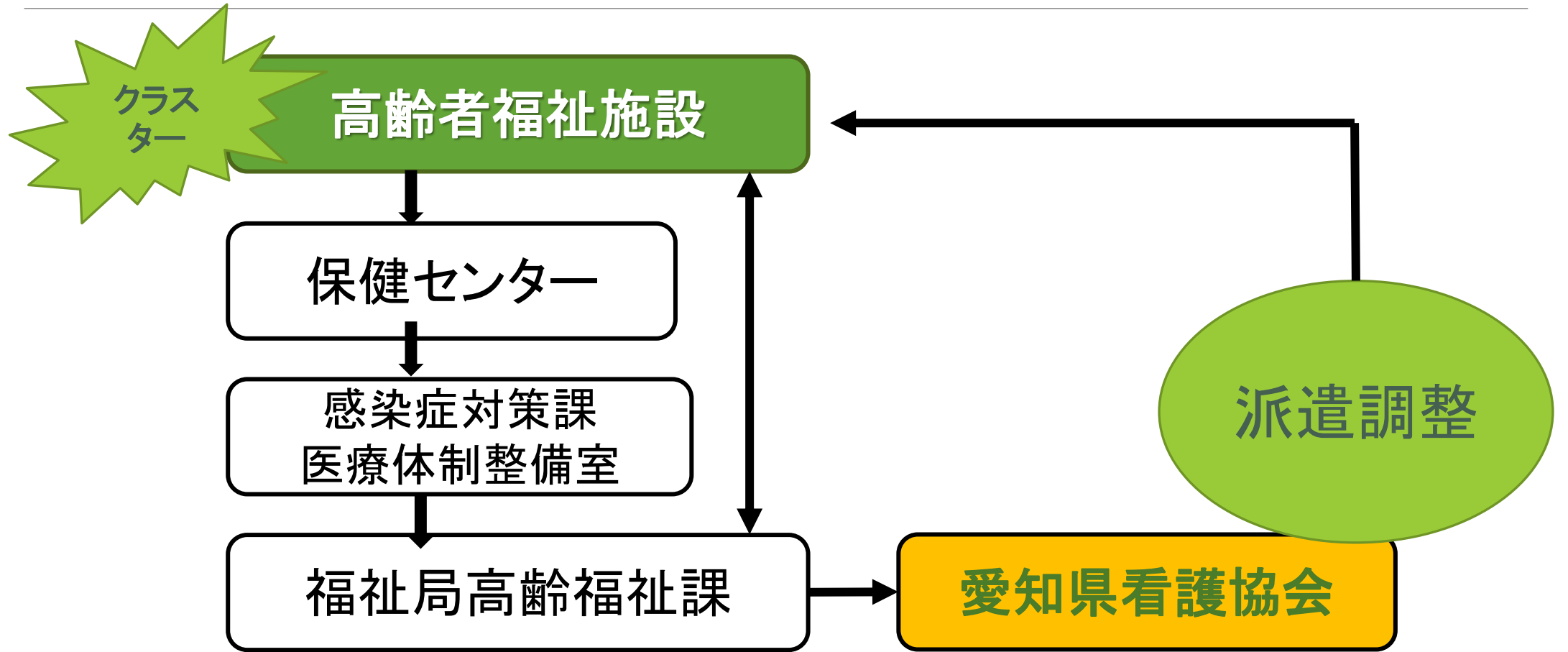
- 1) 愛知県内医療機関の感染管理認定看護師・感染症看護専門看護師・
看護師
- 2) 愛知県看護協会の役員、看護職員：認定看護管理者・看護師

事業内容

クラスター発生時に管轄保健所より県へ報告後、感染症対策課で審議し、本看護協会に依頼される。

	派遣する看護師等	活動内容
第1陣 (先遣活動) 最大1週間程度	感染管理認定看護師 感染症看護専門看護師 認定看護管理者	感染拡大防止対策 <ul style="list-style-type: none">・施設の感染防止対策の問題点の把握及び見直し・不足する職員や新たに発生する看護業務等に必要な人員の算出・第2陣の活動を含めた勤務表の作成
第2陣 (看護応援活動) 2週間程度	看護師・准看護師等	通常体制への早期復帰支援 <ul style="list-style-type: none">・通常の運営体制を維持するための看護応援業務

クラスター発生時の連絡方法



配信動画

基礎編

平時から必要な
標準予防策

実践編

高齢者介護施設での新型コロナウイルス対策

呼吸・脱水

観察のポイント

愛知県看護協会ホームページ

公益社団法人 愛知県看護協会
AKAHI NURSING ASSOCIATION

検索ワード検索

会員登録ページ
キャリアパス
会員数 40,010名 (会員未発行)

看護協会について | 会員の皆さまへ | 看護職の方へ | 教育・研修 | 入会のご案内

訪問看護協会支店センター | 看護学生の皆さまへ

愛知県看護協会
新会館建設資金
ご協力をお願い

新型コロナウイルス感染症 関連情報
詳しくはこちら

新会館に関する情報!
e-AICHI
いいあいち

愛知県看護協会 訪問看護センター
プレミアムナース
就業支援・就業継続支援
特設ページ

お仕事を、人材探しはこちら
愛知県看護協会
愛知南ナースセンター

介護施設・高齢者施設向け
オンライン講座

継続教育研修の申込
詳しくはこちら
研修サイト操作説明の動画を掲載しています


看護師の
離職防止相談窓口
TEL 080-7192-0432

アクセス・施設案内

各種資料・届出書 ダウンロード

皆様のアクセスをお待ちしています

ご清聴ありがとうございました



新型コロナウイルス感染症 に対する感染対策

公益社団法人愛知県看護協会

感染管理認定看護師 中里トモ子

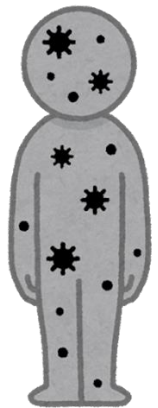
感染とは

=病原体

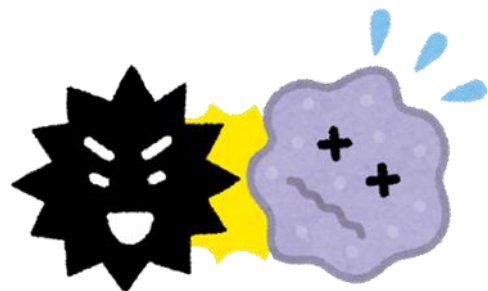
微生物が生体内に侵入し、生体内で定着・増殖し、寄生の状態になった場合をいう



フロー図で確認



病原体侵入



定着・増殖

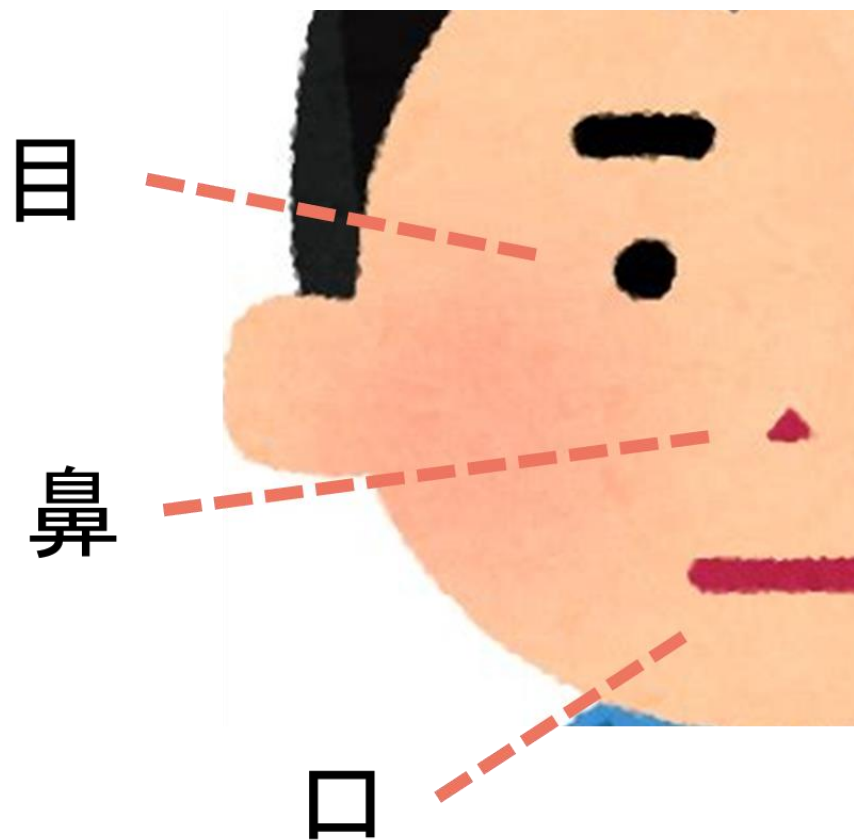
排除



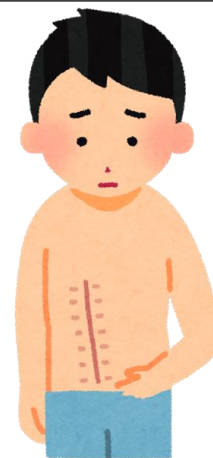
発病
(感染症)

不顕性感染
(無症状)

体内への侵入



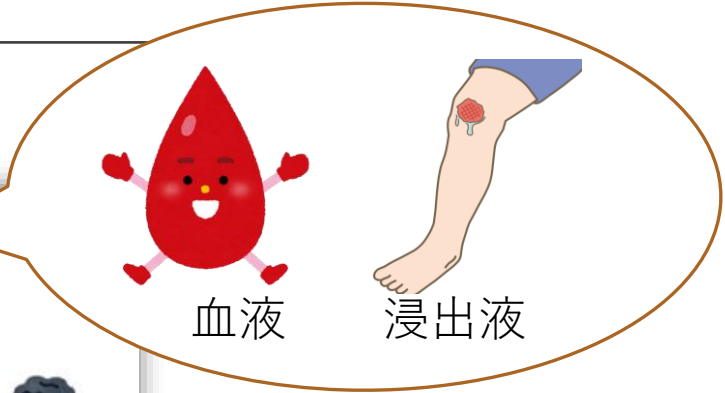
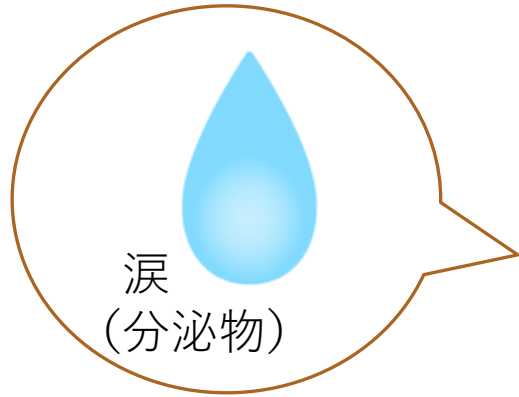
傷口



陰部



体から“出てくるもの”も危険！

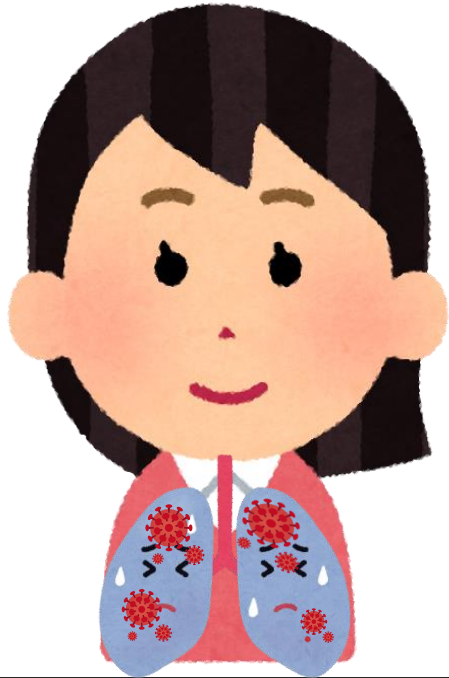


病原体と免疫の闘い



どちらも感染

体内に病原体がいるが免疫の力で抑えられている



病原体により症状が現れ発病した



感染対策を行う時



病原体侵入

定着・増殖

排除

発病

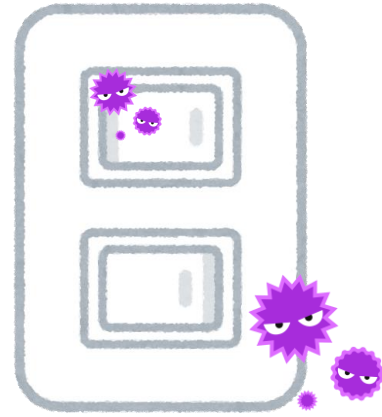
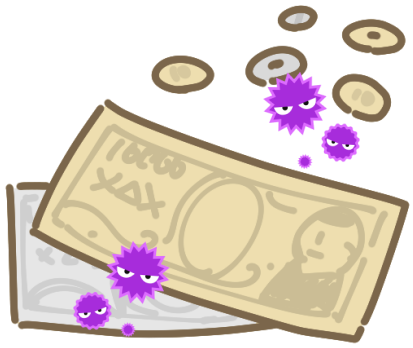
(感染症)

不顕性感染
(無症状)

拡大防止

PPEは必需品

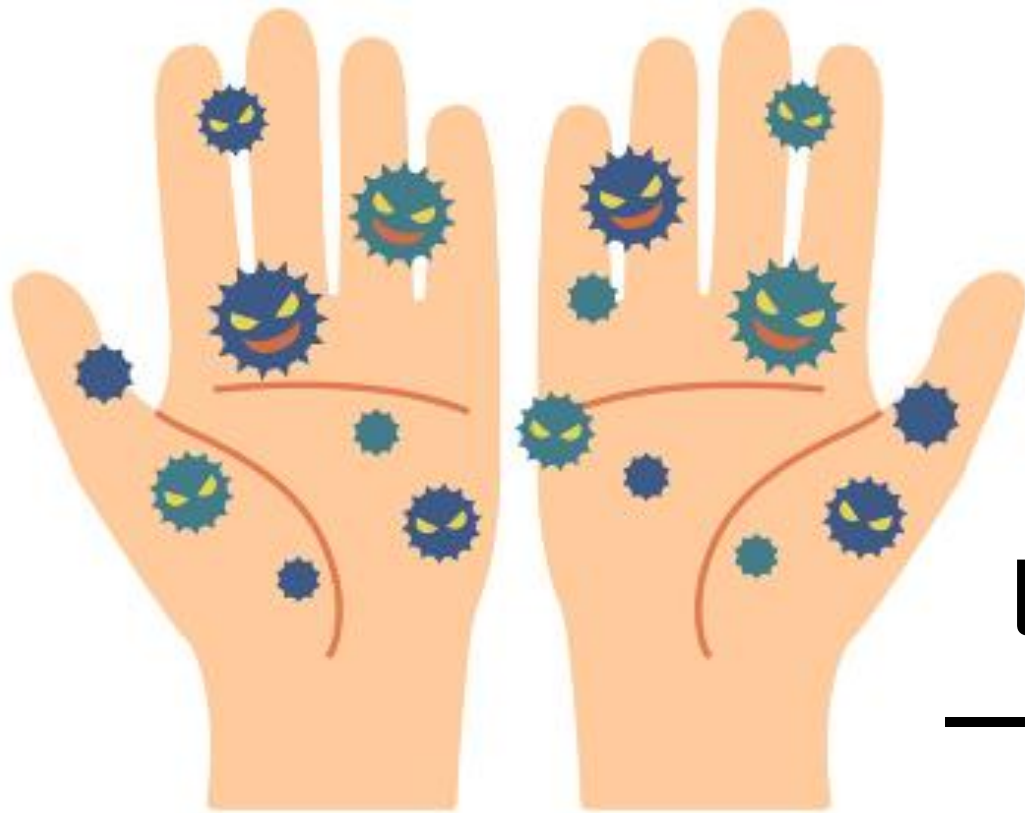
クラスター発生やコスト増大を未然に抑制できる



身の回りは危険がいっぱい



予防の基本は『手指衛生』

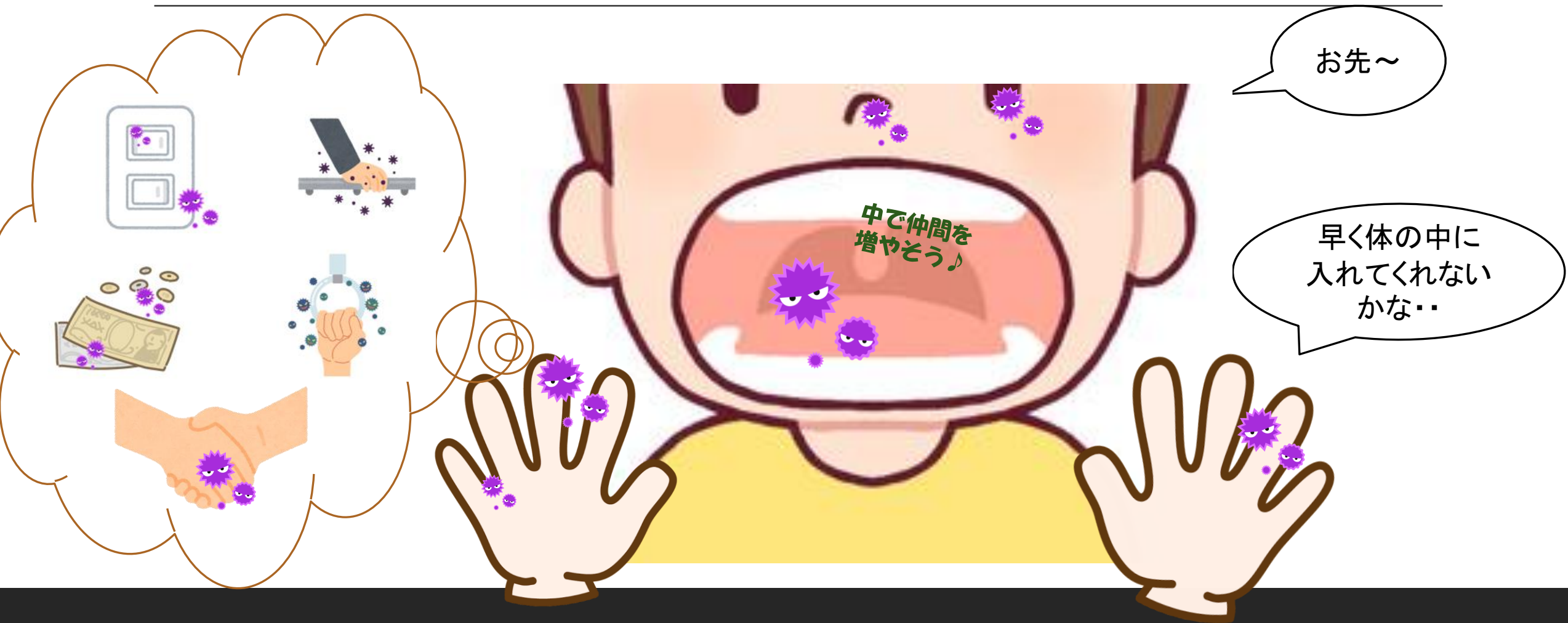


ヒトの手は常在菌のほか
一過性に病原体がつきやすい

ヒトの習性の悪影響



自分自身に



他の人に

ケアや介護をしている
私たちの手が原因に
なることがある

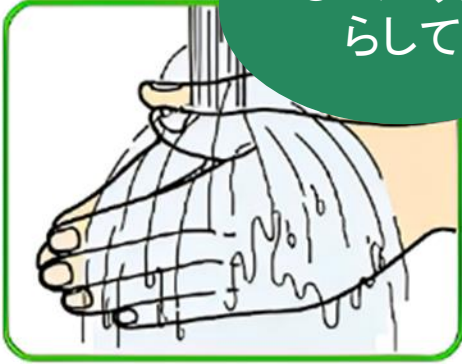


キレイに
しましょうね

複数人を同じ手袋のままケアしても感染の要因になる

30秒以上かけて丁寧に

しっかり濡らして



1 まず手指を流水でぬらす

しっかり泡立てて



2 石けん液を適量とり出す



3 手の平と手の平をこすりよく泡立てる



4 手の甲をもう片方の手の平でこする(両手)



5 指を組んで両手の指の間をこする

隅々まで丁寧に



6 親指をもう片方の手で包みこする(両手)

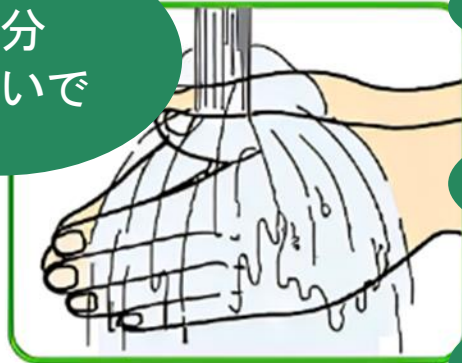


7 指先でもう片方の手の平をこする(両手)

十分すすいで



8 両手首までていねいにこする



9 流水でよくすすぐ

水温の調整

水を止める際の工夫

こすらないよう拭き取る

15秒以上かけて丁寧に

1回量を取り出す



① 噴射する速乾性手指消毒剤を指を曲げながら適量手に受ける

液状であれば③から先に



② 手の平と手の平を擦り合わせる



③ 指先、指の背をもう片方の手の平で擦る(両手)



④ 手の甲をもう片方の手の平で擦る(両手)



⑤ 指を組んで両手の指の間を擦る



⑥ 親指をもう片方の手で包みねじり擦る(両手)



⑦ 両手首までていねいに擦る



⑧ 乾くまで擦り込む

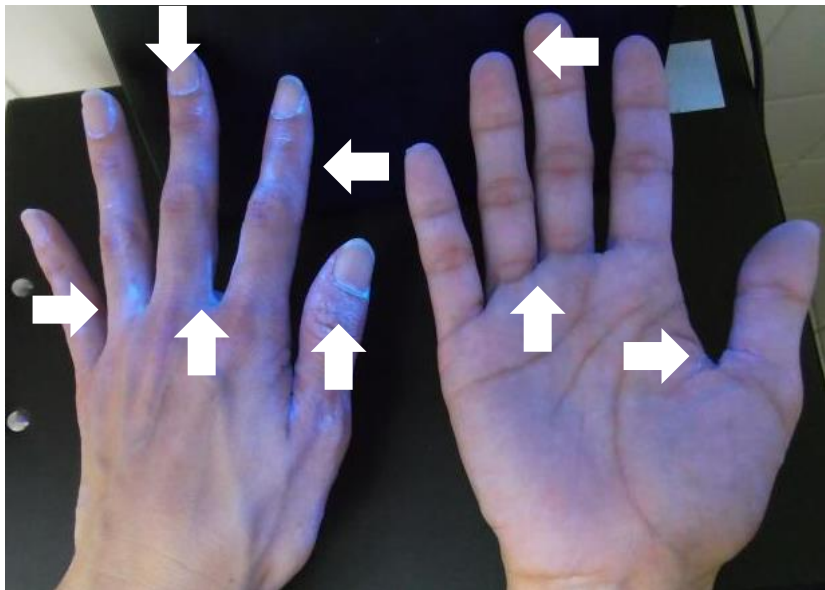
1回量とは②～⑧まで消毒薬が不足せず実施できる量

手荒れ、アルコール消毒でアレルギー反応が出る場合は手洗いに切り替える

“意識して”手をキレイにするが大切

手洗い

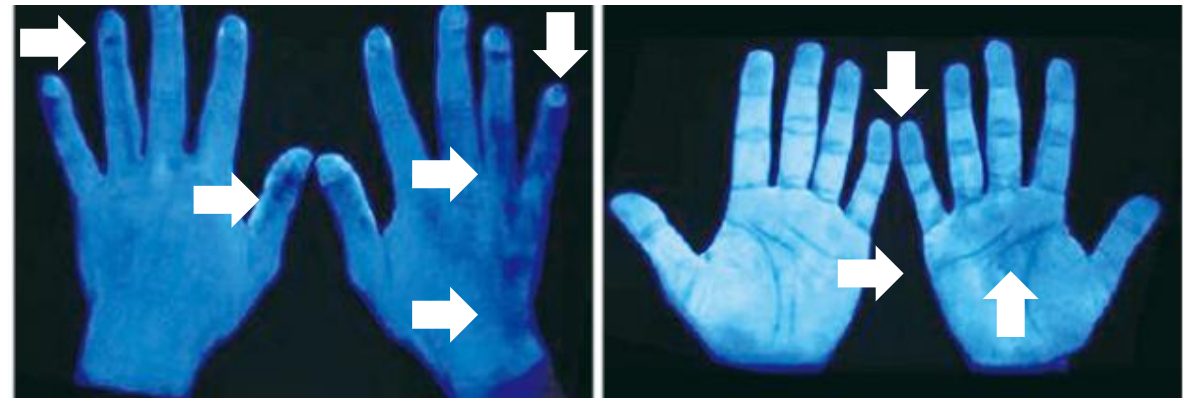
白く光っているところ = 洗い残し部分



指先、爪回り、指の間、しわ部分

手指消毒

黒い部分 = 消毒薬できていない部分



指先、爪回り、指、指の間、関節部分、しわ部分

飛沫（つばのしぶき）と一緒に飛んでくる



インフルエンザ
も同じ

感染者の至近距離に拡散された飛沫が
近くにいる人の鼻や口につく

← 約1～2m範囲内 →

マスクの正しい使用方法

プリーツを伸ばす
(隙間がないよう調整)

裏表を確認する
(ひだの向きに注意する)

フィットして
いるかを確認
しましょう



鼻出しマスク:
鼻から侵入可



顎マスク:
鼻・口から侵入可

危険なものに触れないために着用する

オムツ交換

口腔ケア

吐しゃ物処理

呼吸器症状のある人の対応

環境整備

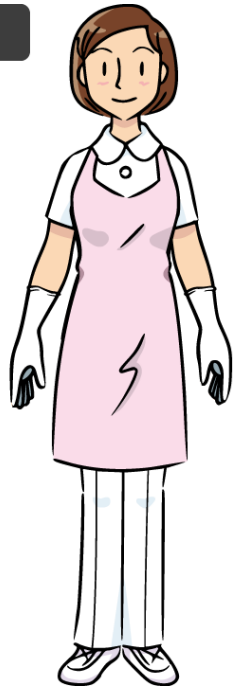
汚染リネン交換

必要に応じて



マスク

ゴーグル



必要に応じて



ゴーグル

マスク

エプロン

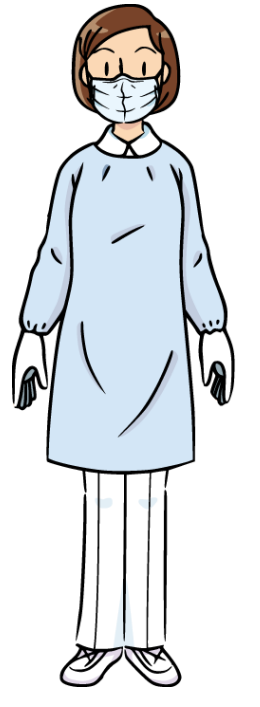


必要に応じて



ガウン

ゴーグル



“もったいない”が大変なことに・・・

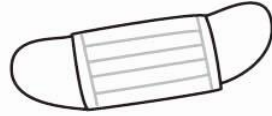
ディスポ製品は使い捨てが基本



着る順番



ガウン
エプロン



マスク



ゴーグル
フェイスシールド



手袋

がまごて
と覚える



一番汚れた
部分から脱いで
いくんだね

脱ぐ順番

手袋



ゴーグル
フェイスシールド



ガウン
エプロン



マスク



てごがま
と覚える

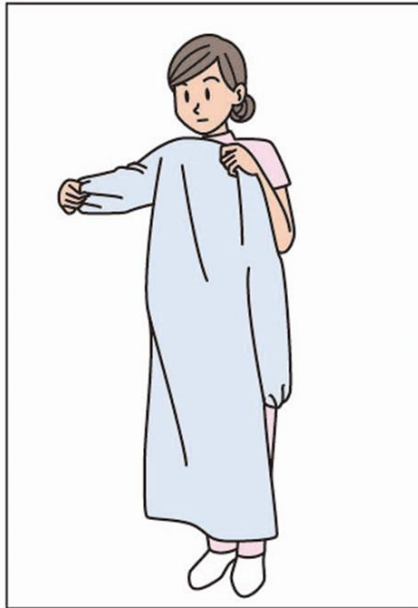
※着る前・脱いだ後には手指衛生!!

※脱ぐときには、ひとつ脱ぐたびに手指衛生したほうが安全!!

※ゴーグルよりもガウンを先に脱ぐ方法もある

PPE着用時のポイント

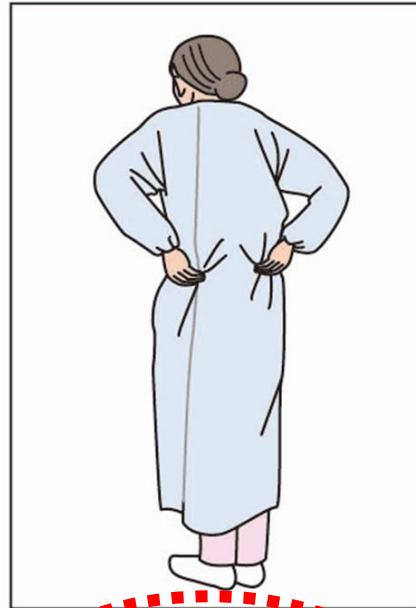
製品の利点・欠点を把握することが必要



①袖に腕を通す。ガウンに破れやほつれがないかを確認する

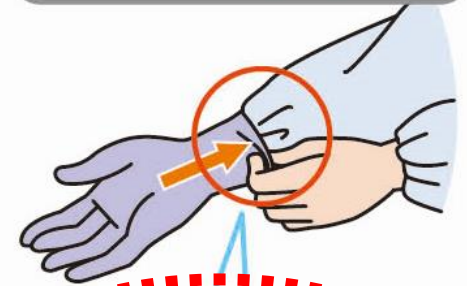


②襟ひもがあるタイプでは、襟ひもを結ぶ



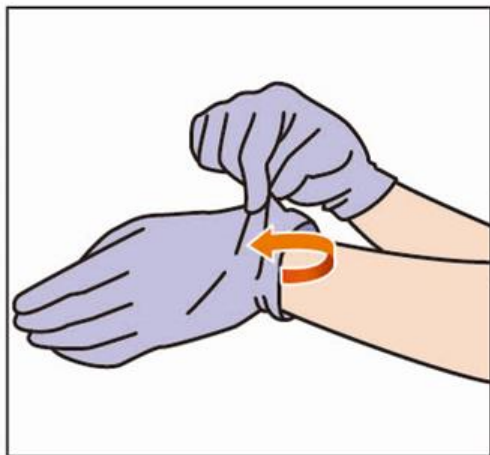
③背中が露出しないようにし、腰ひもを結ぶ

ガウンとの組み合わせ

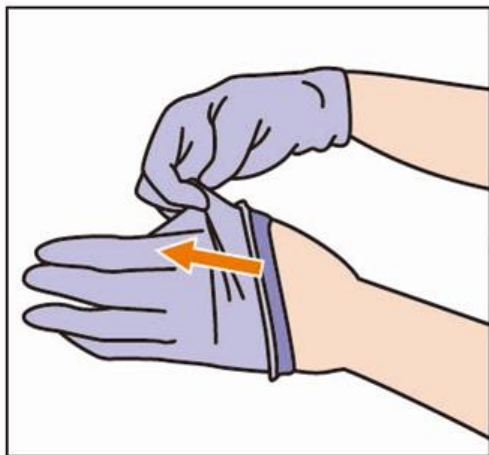


ガウン着用の場合は、手袋がガウンの袖口をしっかりと覆い、隙間ができないようにする

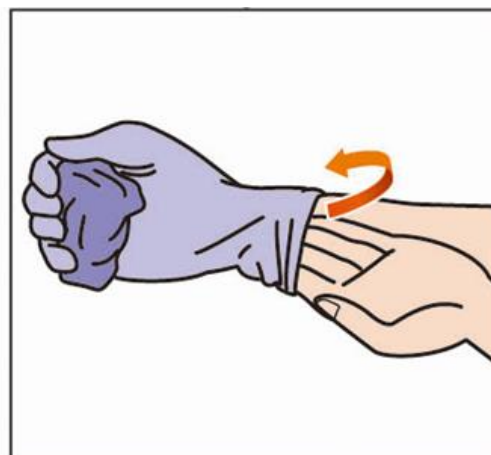
手袋の外し方



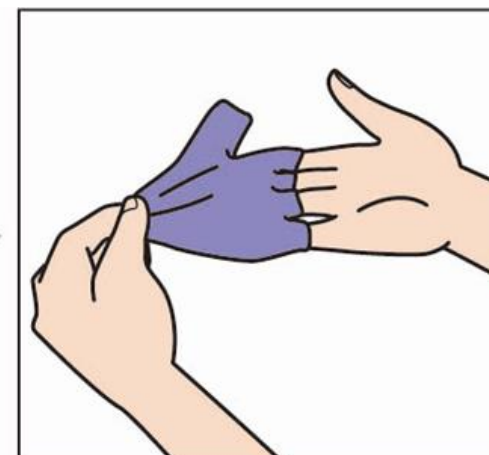
①利き手で、逆の手袋の手首表面を軽くつまむ



②手袋表面が中に巻き込まれるようにして、手袋を外す



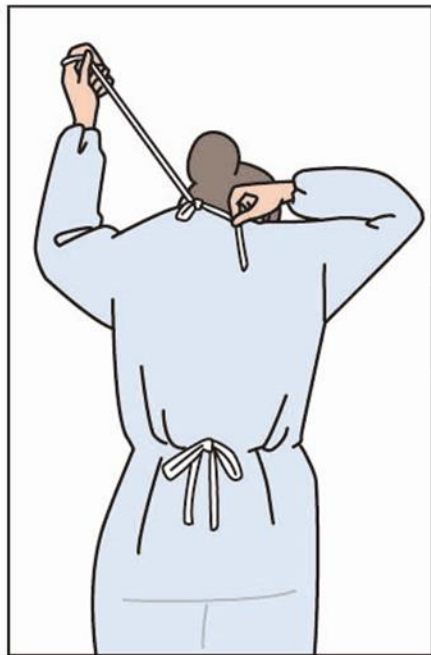
③外した手袋は廃棄するか、手袋が残った方の手で握る。手袋を外した手先を逆の手首・手袋の間に入れる



④手袋表面が中に巻き込まれるようにして、手袋を外す。手袋表面には触れないように注意する

⑤手指衛生

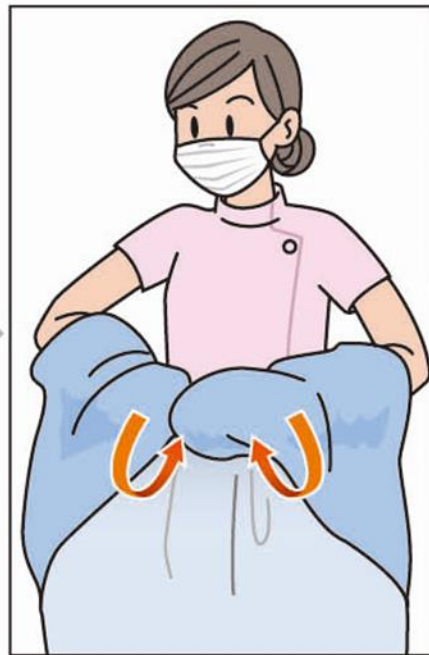
ガウンの外し方（不織布タイプ）



①襟ひもと腰ひもを外す。（製品にもよるが）結び目を外すより、引きちぎった方が簡単



②袖口の内側に逆の手先を入れてつまんだら、腕を引っ込める。引っ込めた手でガウンの内側から反対の袖を持って引き抜く



③ガウン表面が内側になるように肩からクルクルと巻き降ろしながら脱ぐ



④そっと腕を外す



⑤ガウンを自分の体から離れた状態で、クルクル巻いて小さくたたんでから廃棄する

アイプロテクト製品の外し方

高齢者施設 & 療養型病院 “誰でもわかる”感染対策マニュアル.株式会社メディカ出版

ゴーグルの外し方



フレーム（耳当て部分）を持って、そっと外す。レンズ部分には触れないように注意する

フェイスシールドの外し方



フレーム（耳当て部分）を持って、そっと外す。シールド（フィルム）部分には触れないように注意する

リユースする場合は、ウェットクロス等で清掃し定位置に保管する

マスクの外し方



①マスクの表面に触れない。ゴムを持って外す



②ゴムの部分を持ち廃棄する



③マスクを外した後、手指消毒を実施する

コロナウイルスとは

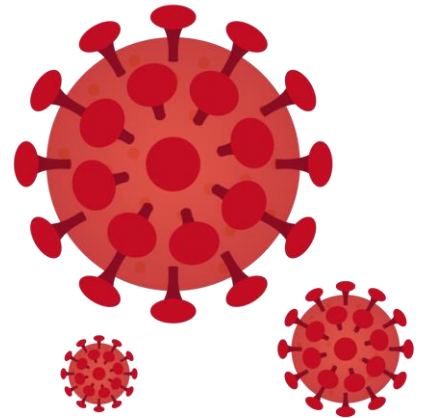
昔から風邪(感冒)のウイルスとして知られていた

2002年 SARS (2003/07 終息宣言)

2012年 MERS (2015/5-12 韓国国内で流行)

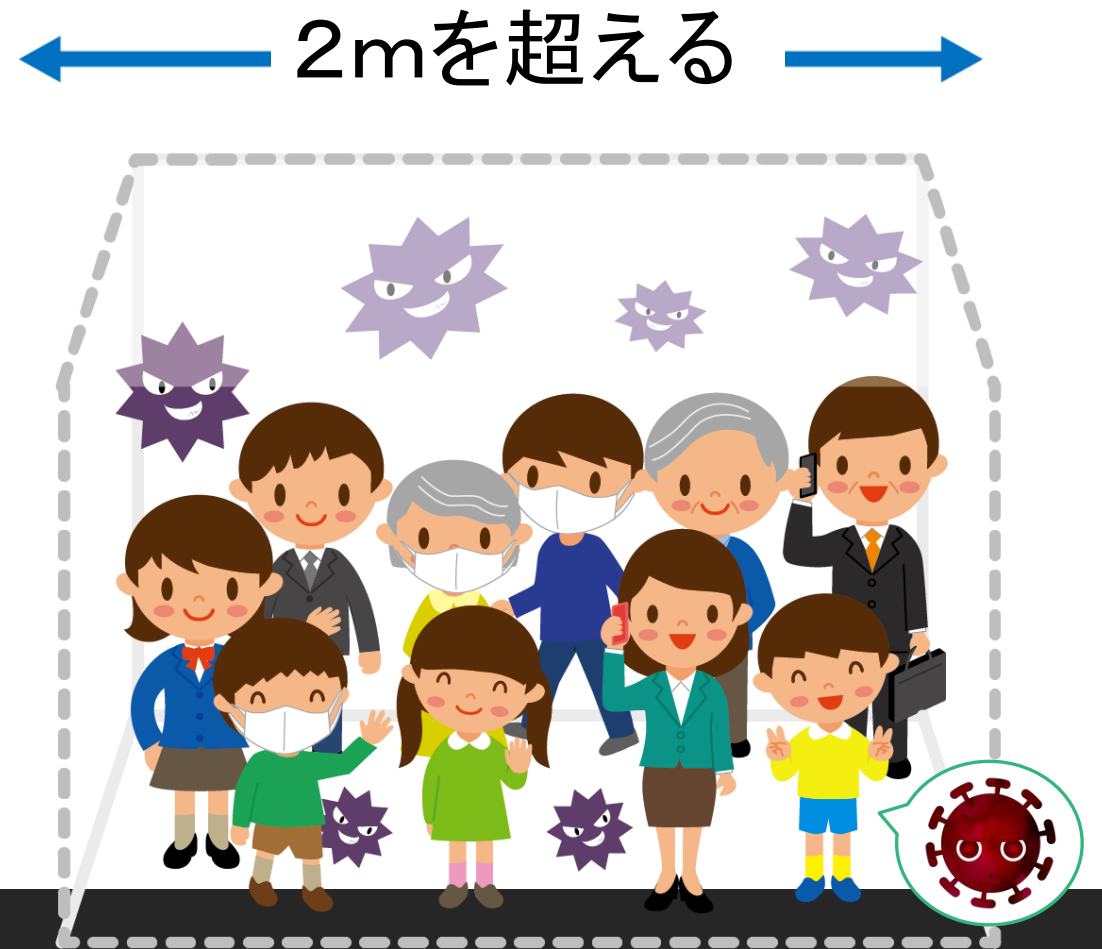
2019年～ COVID-19 (収束目途不透明)

が流行



エアロゾル感染

閉鎖空間、かつ換気が悪い場所では空気中に
ウイルスが浮遊する
2m以上離れたヒトにも感染したケースがある



症状は多彩

咽頭痛



発熱



鼻水



下痢



寒気



筋肉痛



頭痛



咳や



くしゃみ

息苦しさ

また中には、症状がない人も存在する(無症状病原体保有者)ため注意が必要

発病2日前からウイルスを排出している



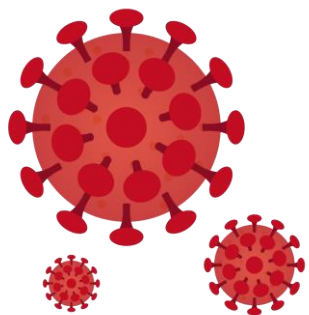
2日前は元気
だったのに・・・

リスクは人によって異なる

感染



発病



大半は軽症・中等症

「60歳以上」と「基礎疾患（高血圧、糖尿病、心血管疾患、慢性呼吸疾患、癌など）」がリスクファクター



中等症～重症



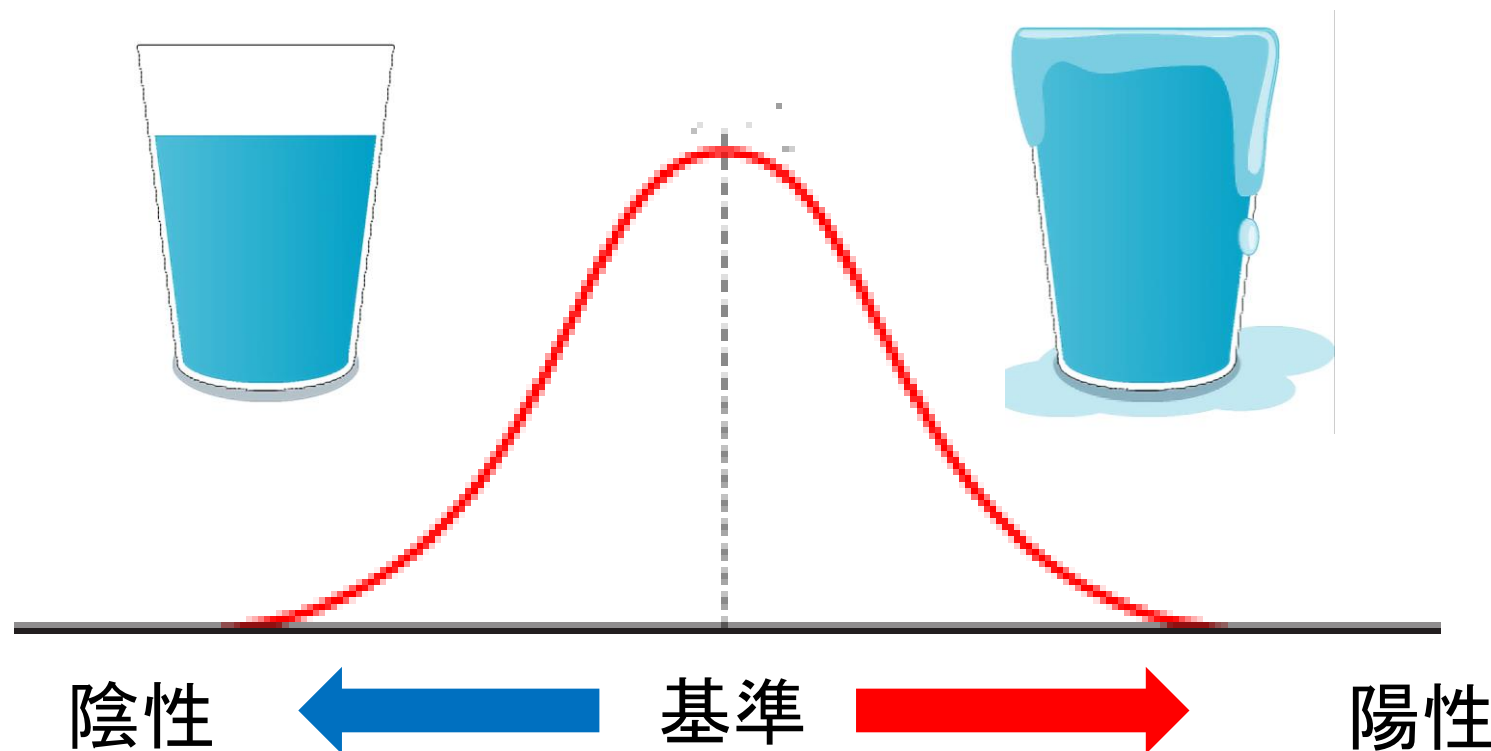
重篤

検査結果が絶対ではない

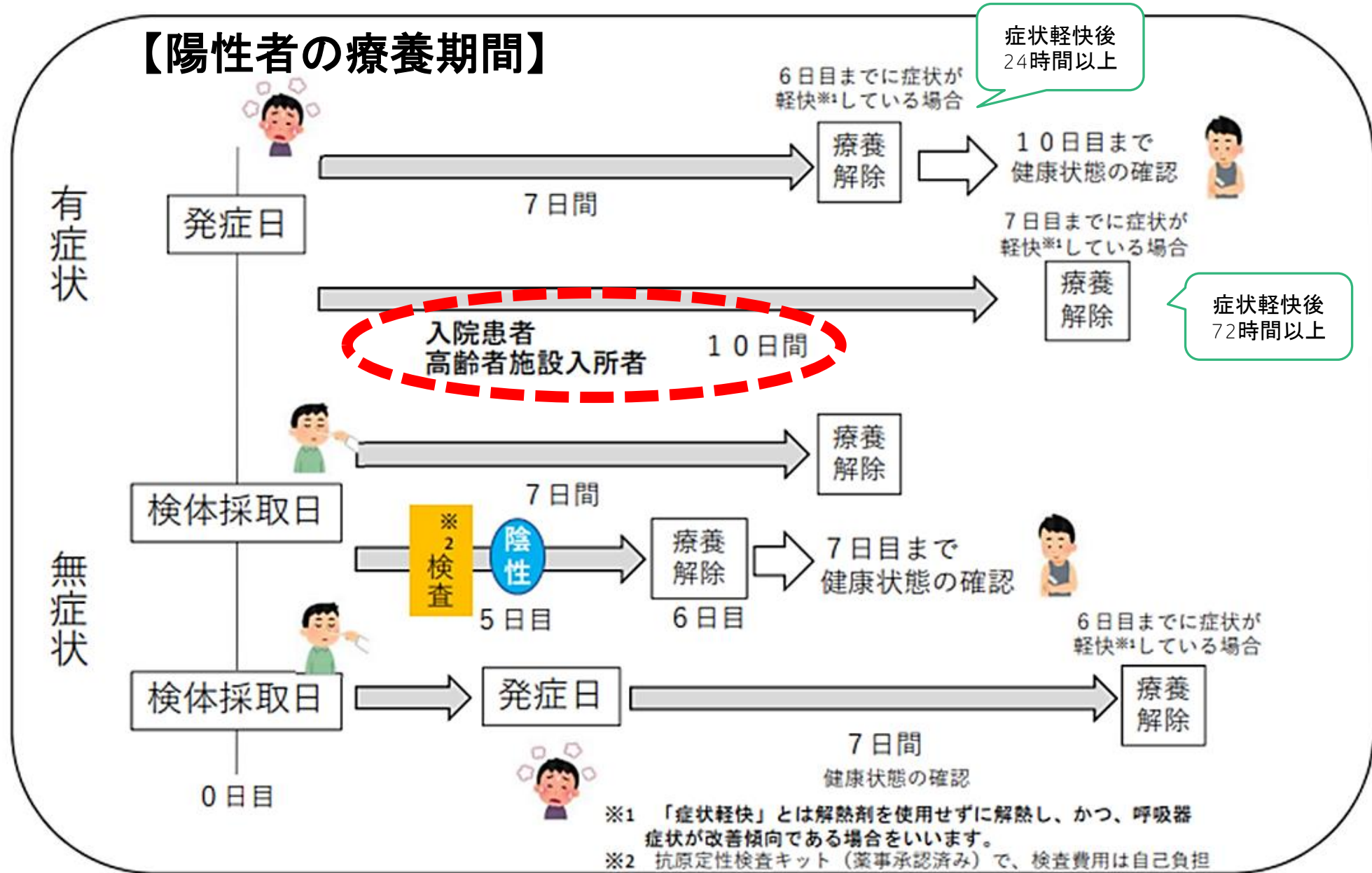


水が入っているコップに
例えば、コップいっぱい
になったら“陽性”

しかし、どちらも水が
入っていることに
変わりはない



【陽性者の療養期間】

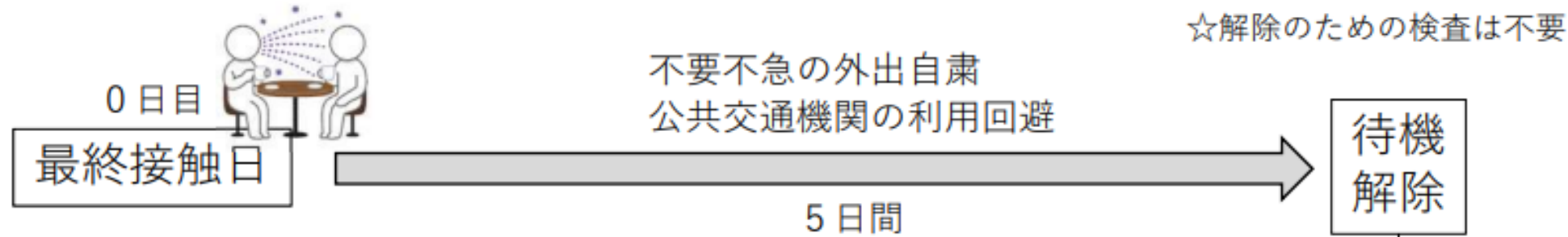


※1 「症状軽快」とは解熱剤を使用せずに解熱し、かつ、呼吸器症状が改善傾向である場合をいいます。

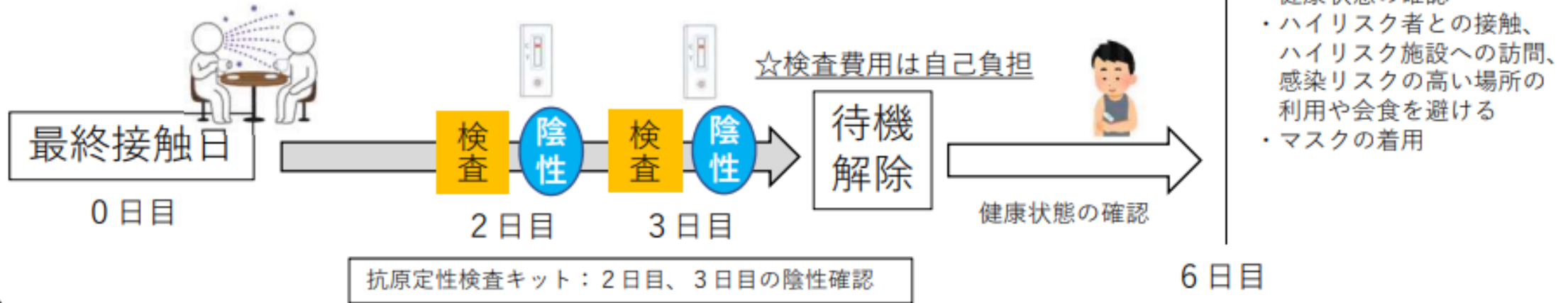
※2 抗原定性検査キット（薬事承認済み）で、検査費用は自己負担

2022/10 時点

【濃厚接触者の待機期間】

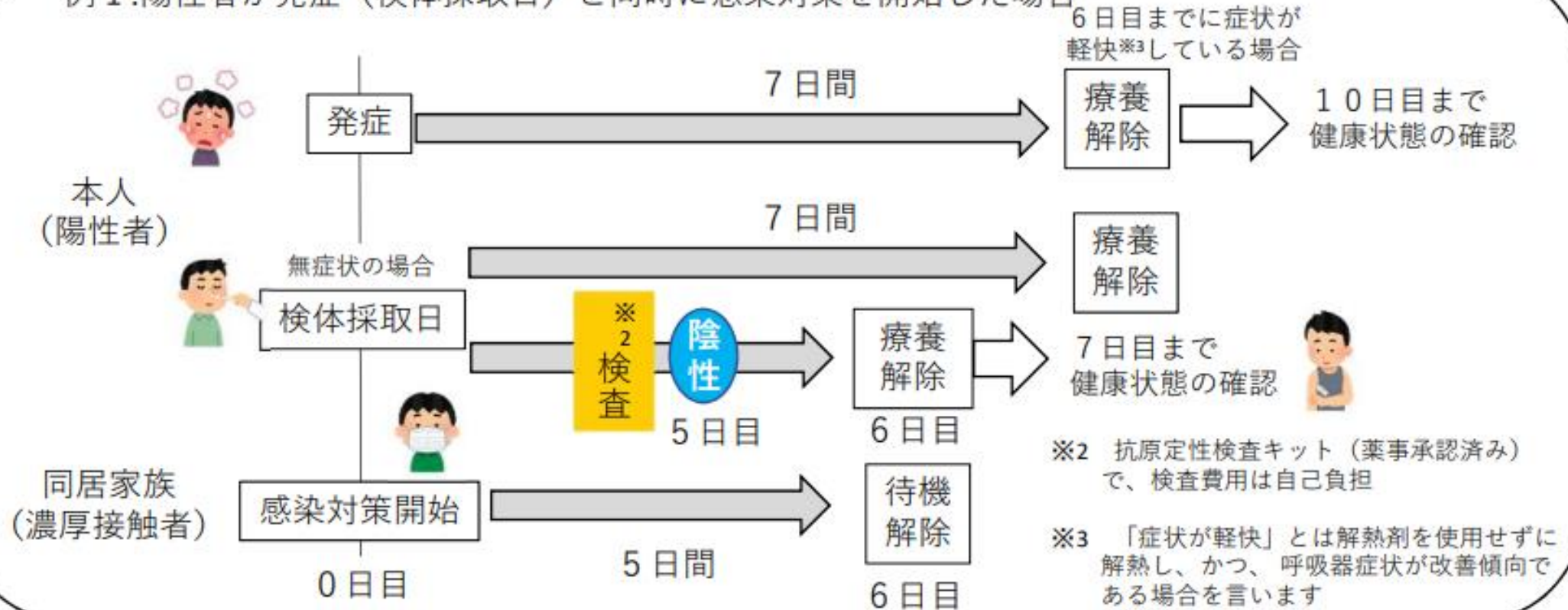


○待機期間の短縮



【家庭内】

例1:陽性者が発症（検体採取日）と同時に感染対策を開始した場合



2022/10 時点

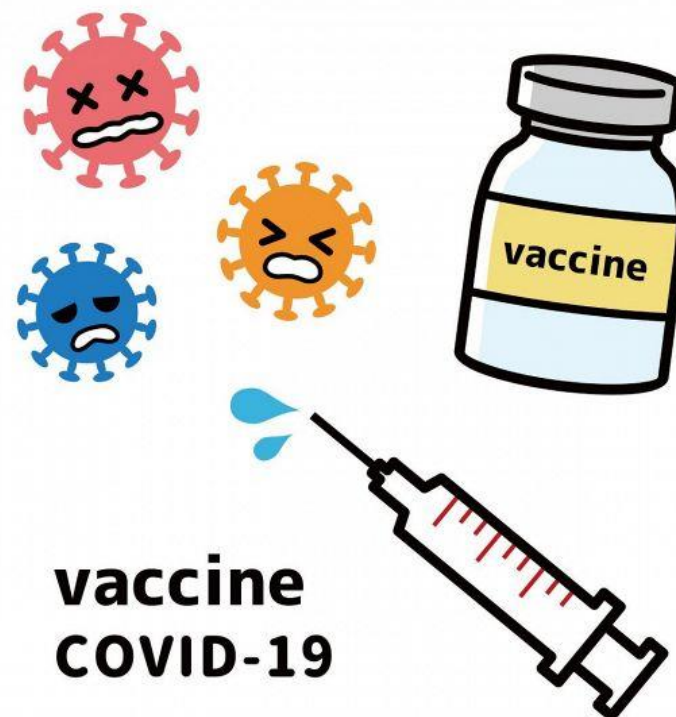
治療と予防

経口薬



エバシエルド (アストラゼネカ)

違う疾患の薬

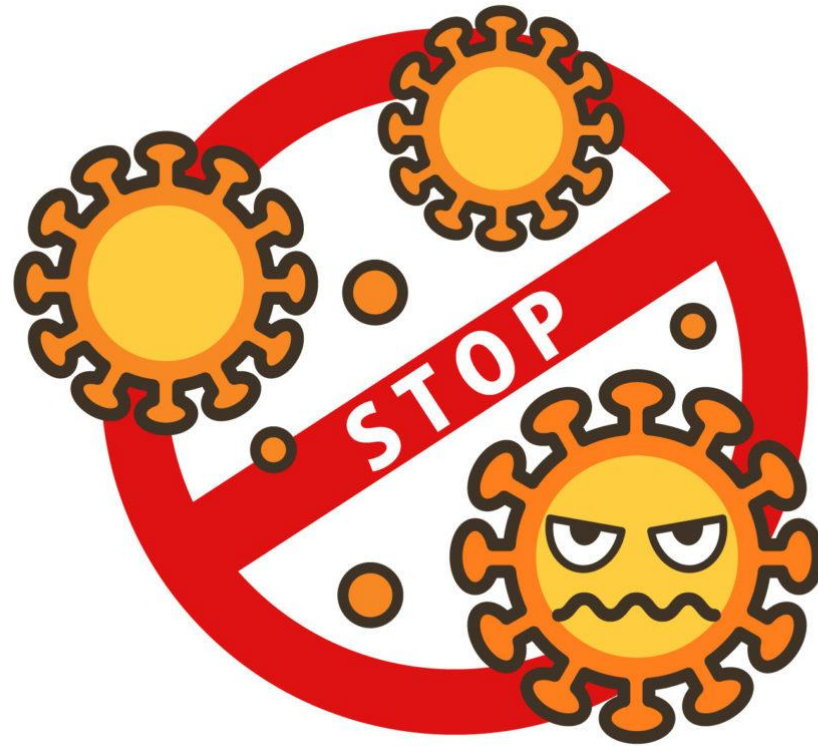


ワクチン

ウイルスの変異や治療薬の開発途上

だからこそ

感染対策の



合わせ技

平時の感染対策

手指衛生を実施するタイミング



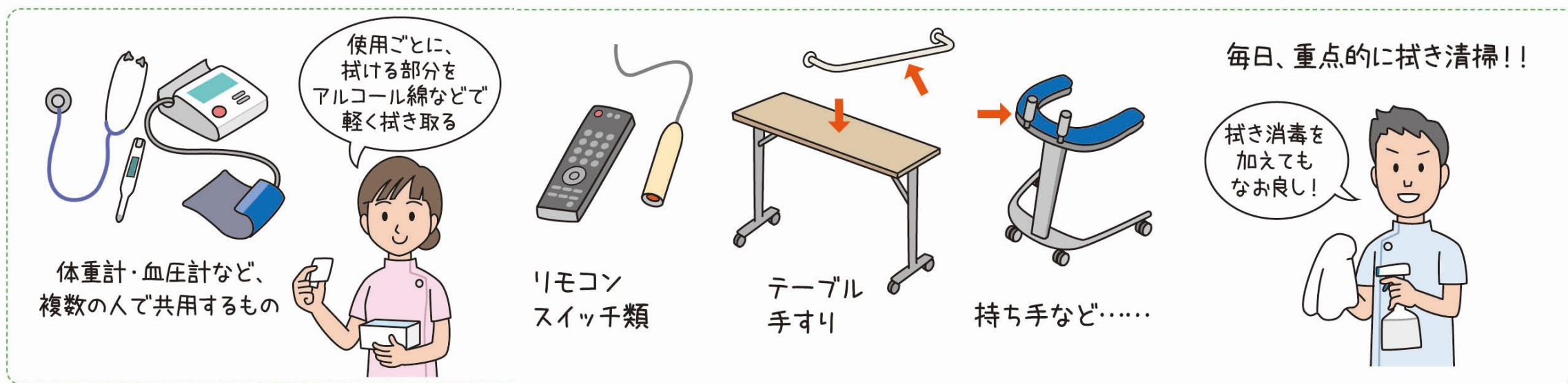
筆を洗う時を想像して

ひとりひとり違う色



..だから、混ぜない

手をキレイにしておくためには



手でよく触れる、使用頻度が高いものや場所はいつもキレイにしておくことが必要

目を守ることも忘れずに

便・尿の廃棄時



喀痰吸引・口腔ケア時



呼吸器症状(咳・くしゃみ)の強い患者(利用者)の顔に近付いて行うケア時

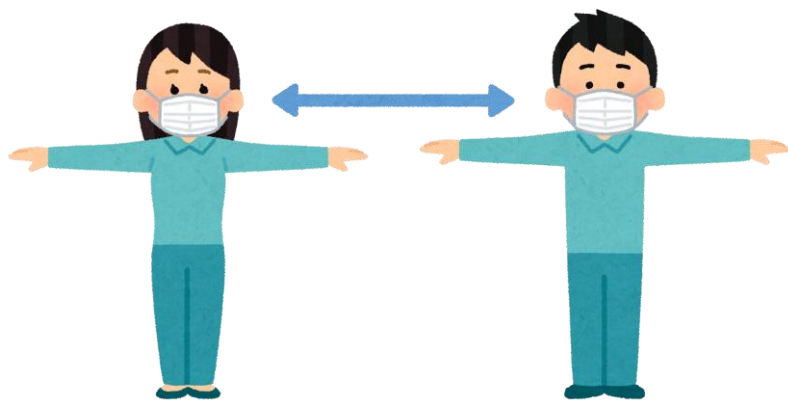


このような場面では、①ご自分の目・鼻・口からの侵入を防ぐ、②ユニフォームなどへの付着を防ぐため防護が必要です

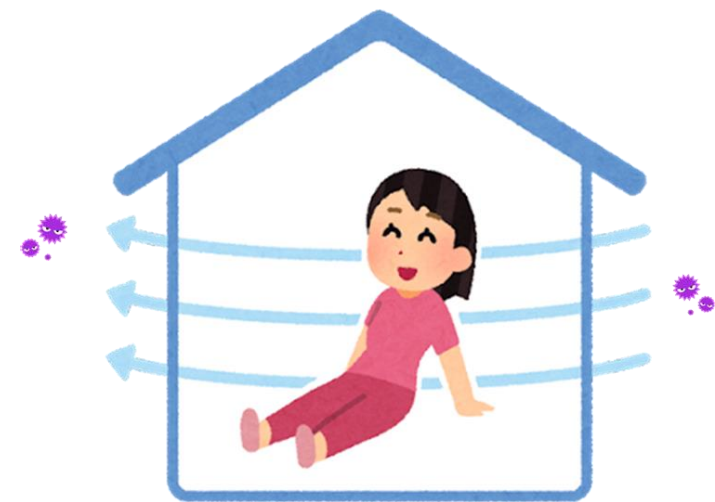


三密の回避

ソーシャルディスタンスと
マスク着用

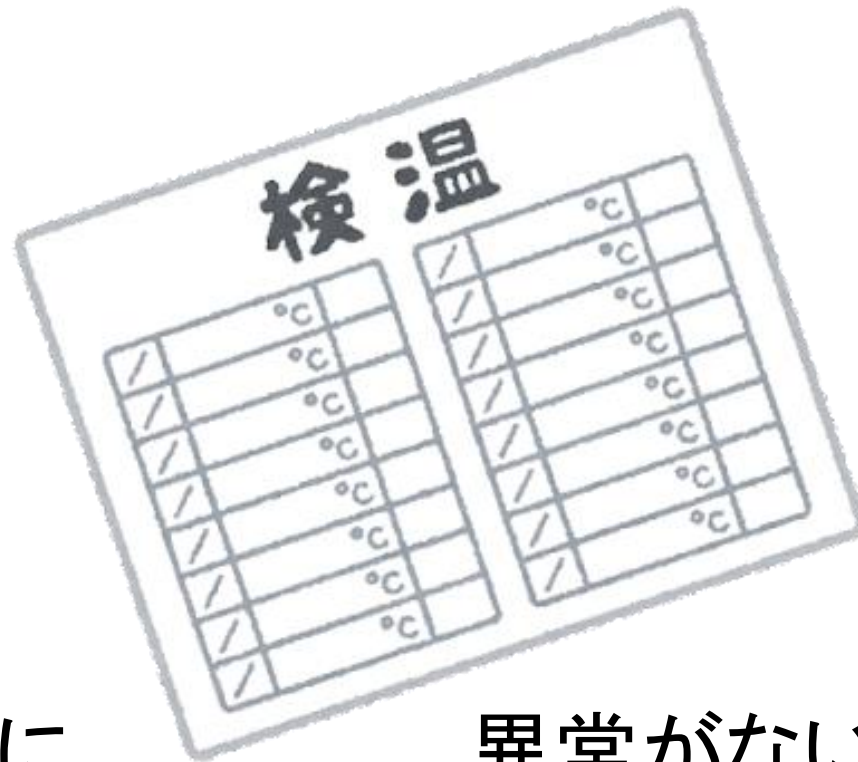
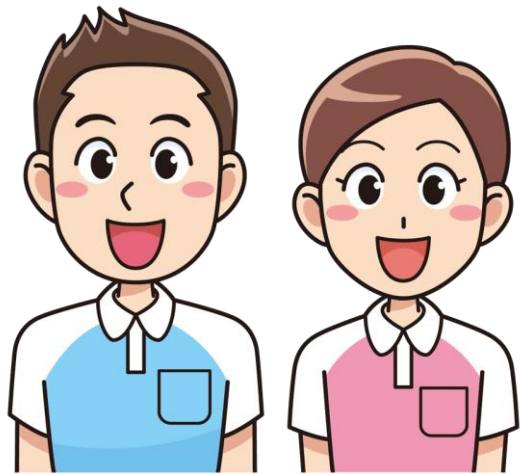


少人数で



換気

体調確認

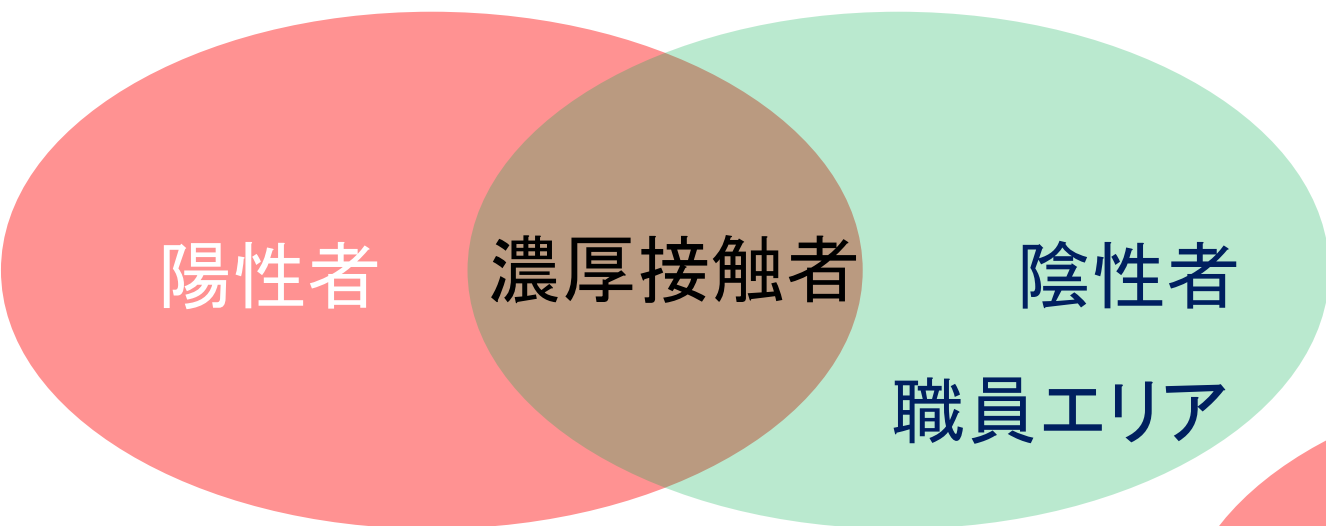


関係する全てのヒトに

異常がないことをこまめに確認する

感染症発生時の感染対策

ゾーニングのイメージ



陽性者

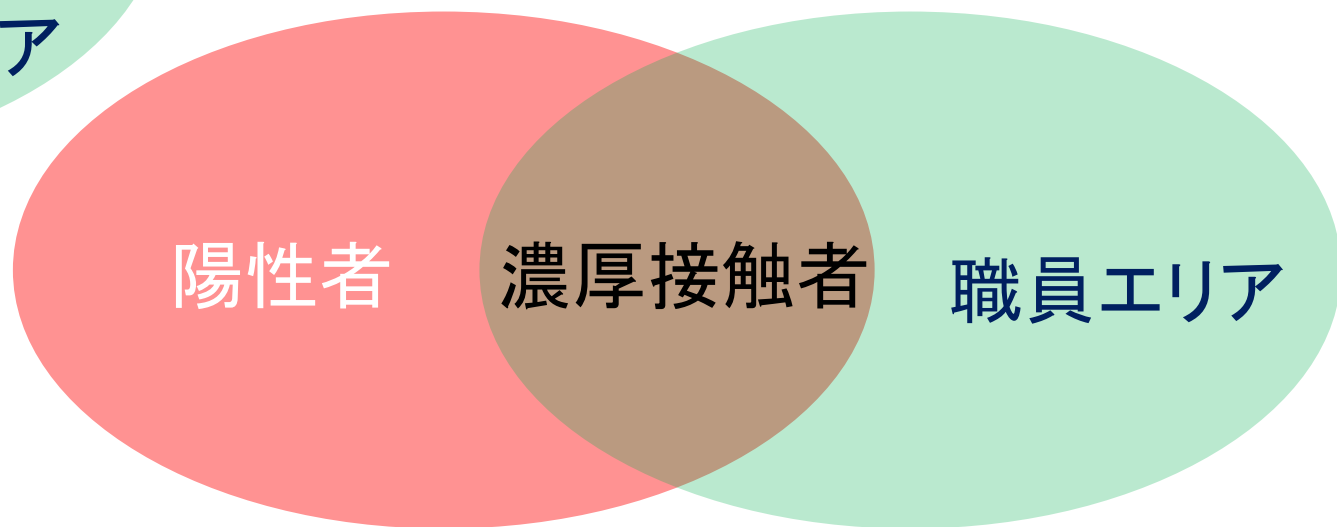
濃厚接触者

陰性者

職員エリア

基本

陽性者ばかりになっても
職員エリアはグリーン



陽性者

濃厚接触者

職員エリア

一人目の陽性者が確認された時

他の利用者から離す



- 個室や大部屋の一人使い
- 数名の陽性者が同時に確認された場合は、同室に収容しても可能
- 多数の陽性者が確認された場合は、全体の状況により移動を判断する
- 疑わしい症状がある場合は、検査結果が判明する前から実施する

同時に、濃厚接触者を特定し隔離すること

装着する防護具

陽性者 対応

アイガード

マスク

ガウン

手袋



濃厚接触者 対応

アイガード

マスク

ガウン

手袋

陰性者 対応

アイガード
(必要時)

マスク



床にテープを貼って終わりではない

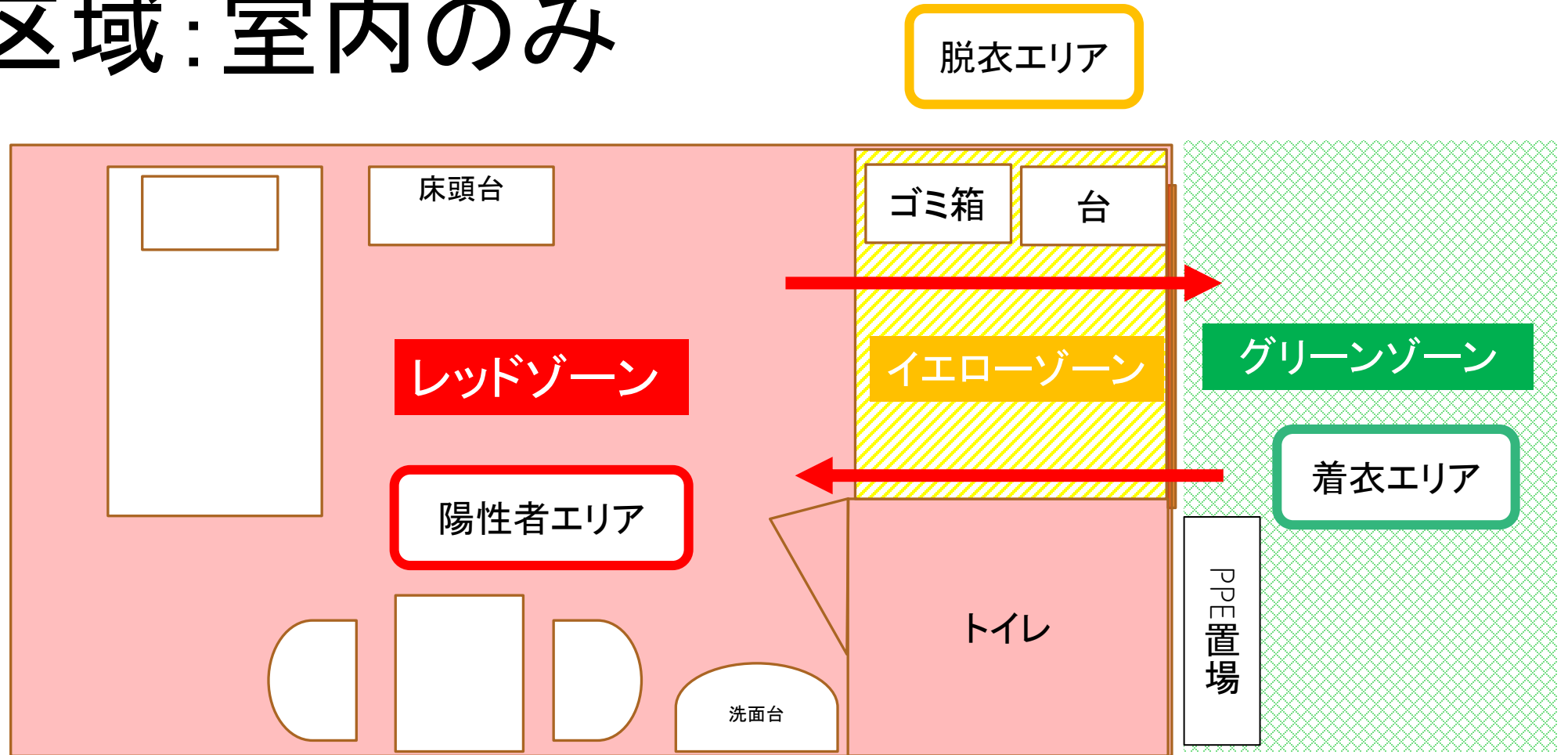


PPE着用前
の状態

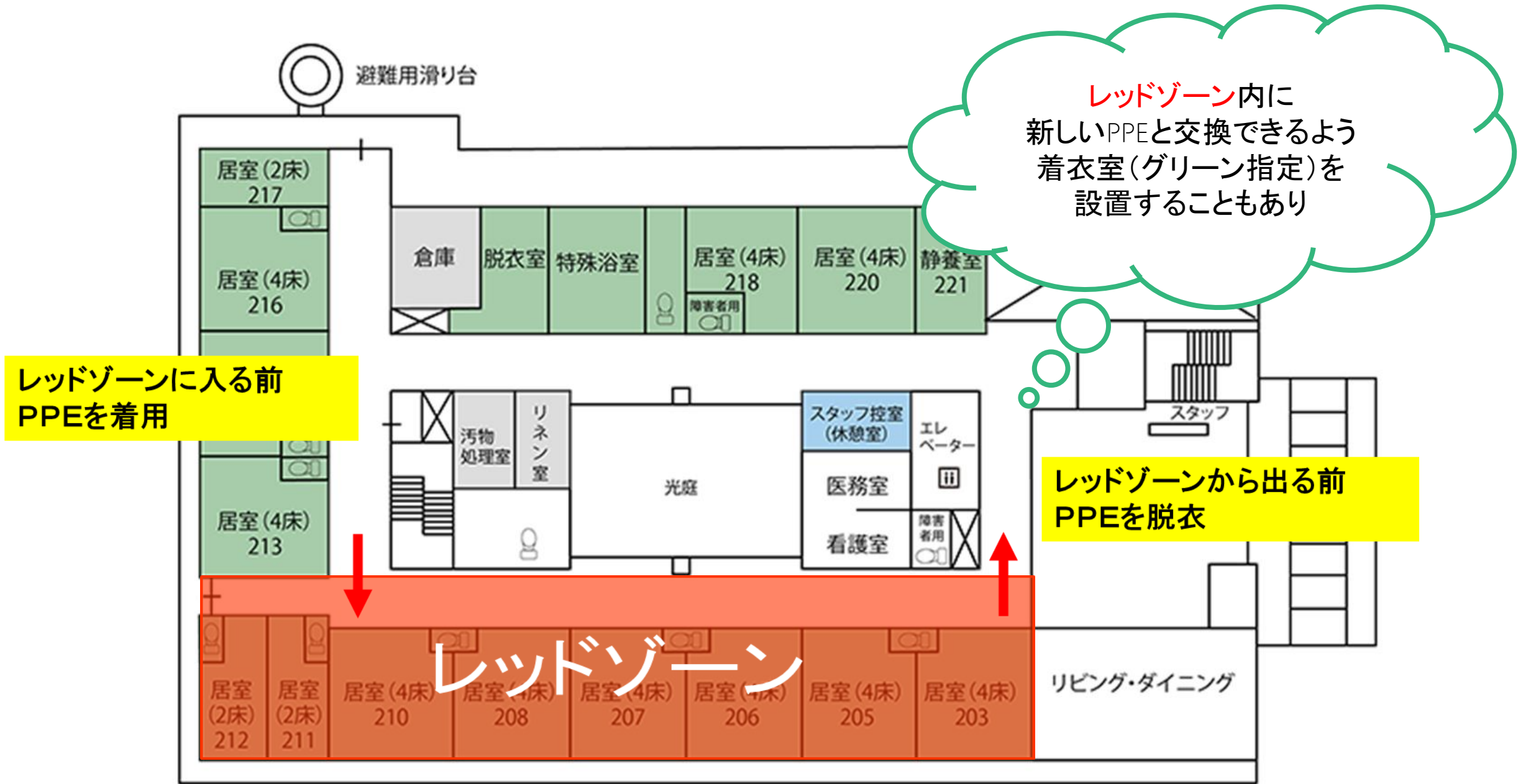


レッドゾーンから病原体を持ち出さない

汚染区域：室内のみ



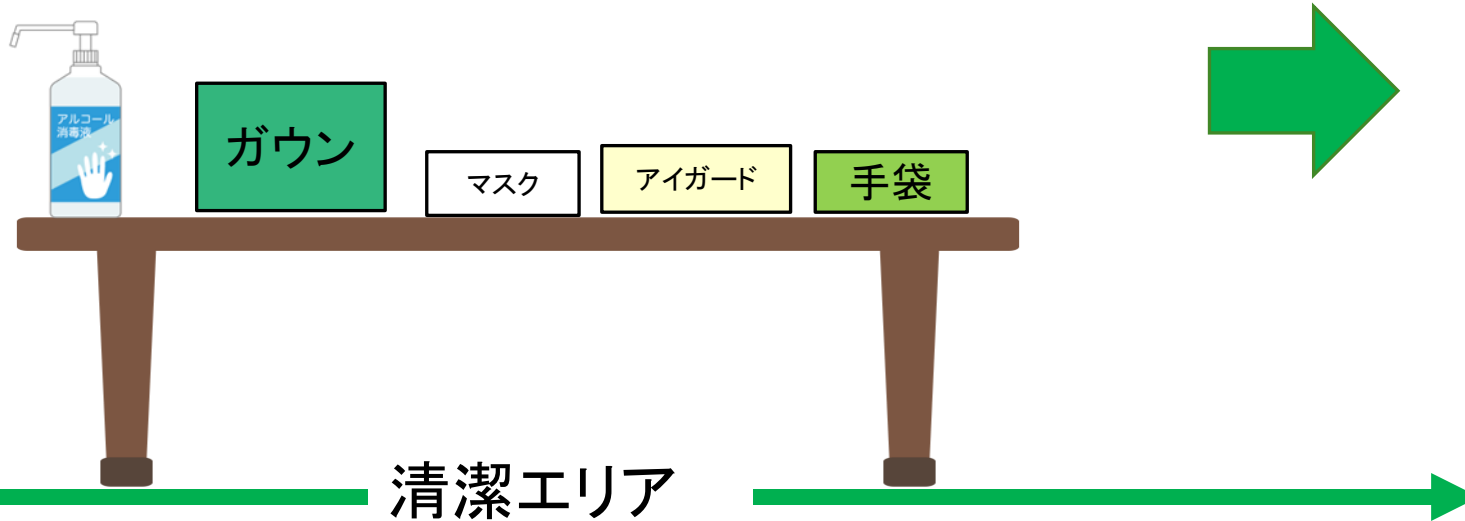
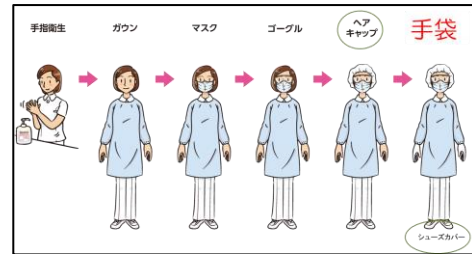
デメリット：陽性個室が多い場合は、出入りの際の更衣回数が多くなり業務量の負荷となる



業務量過多にならないよう様々なシミュレーションを想定して動線を考える

個人防護具は 清潔エリア へ設置

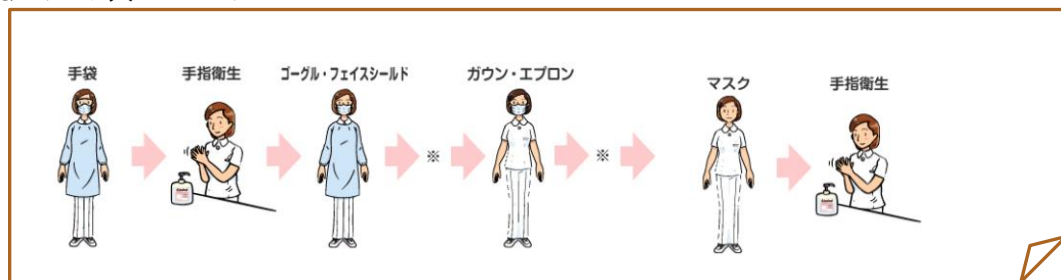
着衣順ポスター



感
染
エ
リ
ア

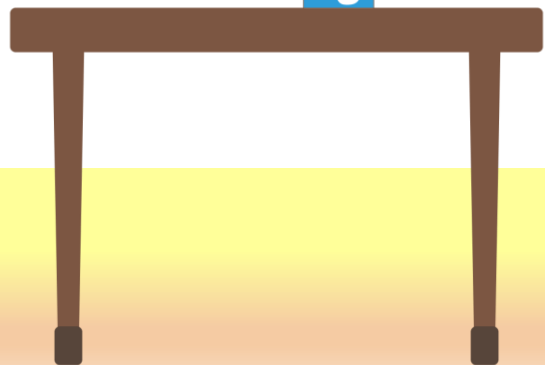
脱衣場所には不要な物を置かない

脱衣順ポスター

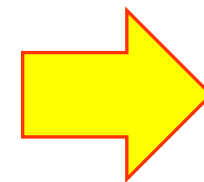
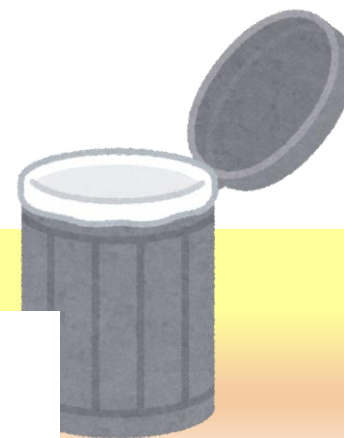


- ✓ 別のゾーンに出る手前のレッドゾーン部分
- ✓ イエローゾーン

アルコール消毒薬



足踏み式ゴミ箱
(感染性廃棄物)



清潔エリア

レッドゾーンにおける食事提供方法

配膳車はレッドゾーンに持ち込まない
使用後の食器は洗浄や消毒してから感染エリアから持ち出す

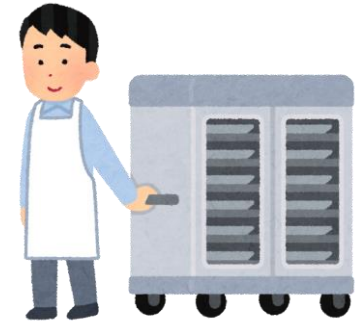


ガウン、マスク（N95）、ゴーグル、手袋

受け渡し



お持ちしました



洗浄または消毒してから厨房へ返却
（厨房で処理する場合もあり）

厨房職員への感染対策指導を実施するとともに、一時的に Disposable 食器の変更を検討

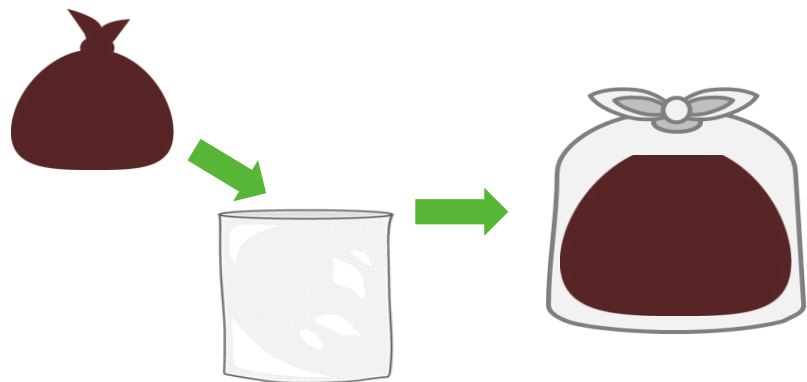
レッドゾーンにおける排泄場所の検討 (部屋にトイレがない場合)

- ポータブルトイレを使用する場合
汚物室がレッドゾーン内でない場合ごみとして処理する
- レッドゾーン以外のトイレを使用する場合
他の利用者の安全をふまえて検討する



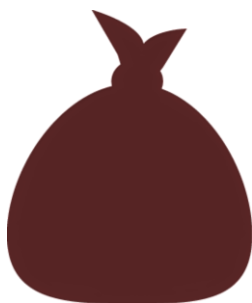
トイレじゃないと出ない
んだよな...

レッドゾーンにおける廃棄物

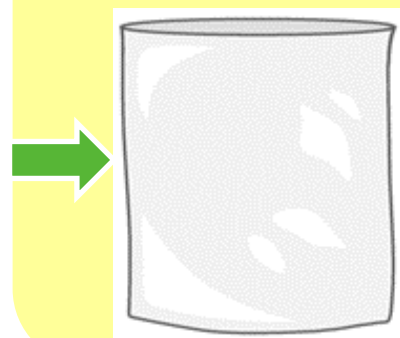


ガウン、マスク、ゴーグル、手袋

未使用の袋の口を開け、
外側に触れないようにそ
の中に入れる



袋の外側をアルコール
で拭く



廃

棄

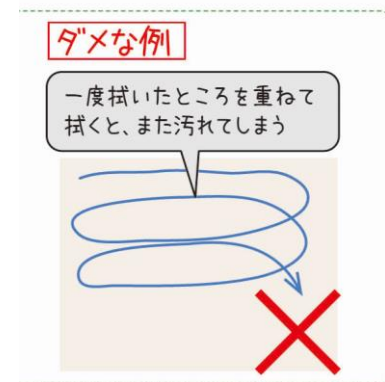
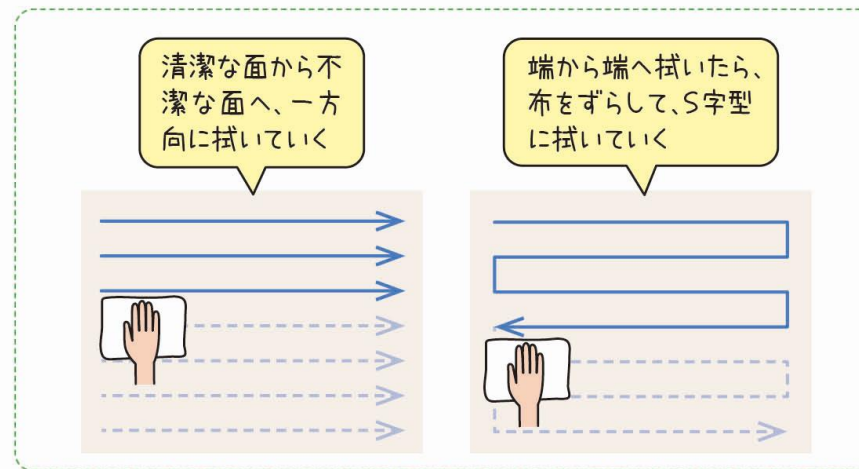
こんな感じで…



ゾーン内の清掃



不要なものを片付け、手が触れる部分を中心に清掃する



療養期間中の保清は検討要

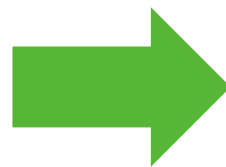
フェイスシールドだけでは防護にならない



人手と労働力を考慮し
一時的に清拭へ変更



マスクにも、何かと
触れる機会がある



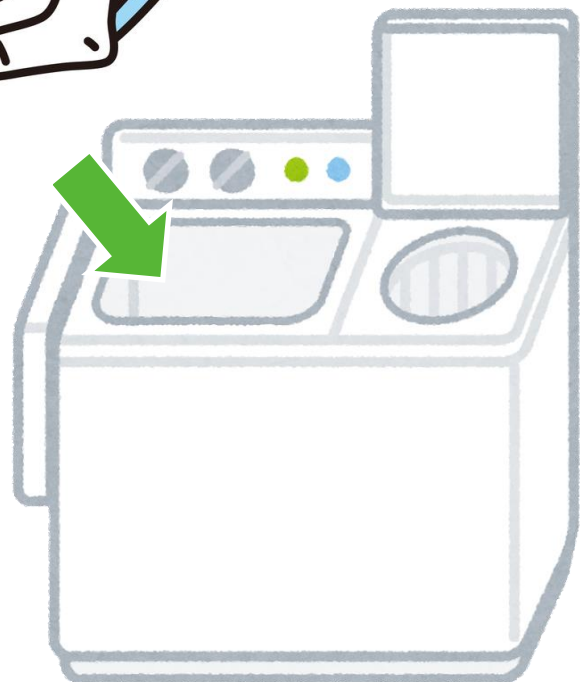
ガウン、マスク、ゴーグル、手袋

ひとりで自立して入浴できる場合は、使用を検討することあり

レッドゾーンにおける洗濯方法の検討



レッドゾーンから持ち出す際は、袋に入れて袋の外側をアルコール等で拭いてからゾーン外へ持ち出す



陰性者と一緒に洗っても可

洗濯前は衣服にウイルスが付いている可能性が高いので汚れものは静かに洗濯槽へ入れる

ガウン、マスク、ゴーグル、手袋

洗濯後は通常の取り扱いで可

洗濯物の消毒は必須ではないが、行う場合は薬品（次亜塩素酸Na）もしくは熱処理



平時からの
感染対策にご協力を